

危機管理型水位計ってなに？

最上川などに「危機管理型水位計」が設置され、運用が開始されています。河川の水位は、スマホや自宅のパソコンなどでホームページにアクセスして確認することができます。

水位計の種類



水位観測所：

日頃から水位を観測し、観測された水位は避難指示などの避難行動の基準となっています。



危機管理型水位計：

洪水に特化した水位計で、一定の水位を超過した場合に観測を行う水位計です。

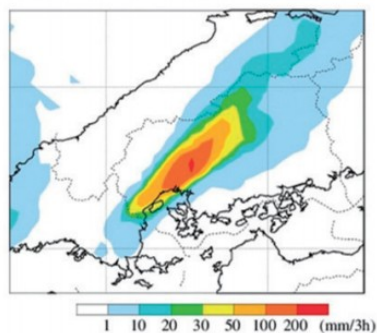
川の水位情報 🔍 検索



線状降水帯ってなに？

次々と発生する発達した雨雲（積乱雲）が列をなした、組織化した積乱雲群によって、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される、線状に伸びる長さ50～300km程度、幅20～50km程度の強い降水を伴う雨域を線状降水帯といいます。毎年のように線状降水帯による顕著な大雨が発生し、数多くの甚大な災害が生じています。

線状降水帯の例（平成26年8月の広島県の大雨）

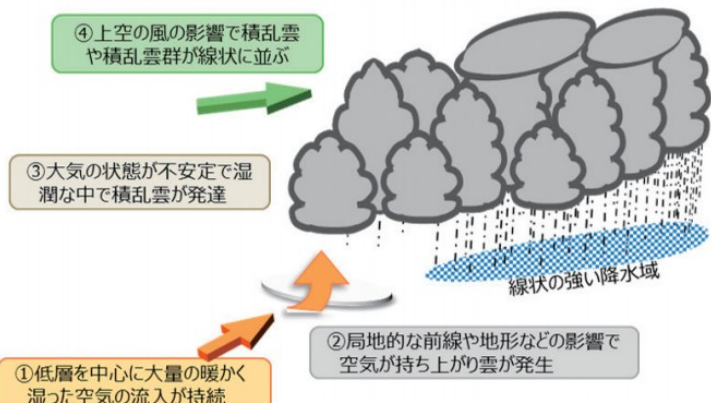


気象庁の解析雨量から作成した、平成26年8月20日4時の前3時間積算降水量の分布

出典：気象庁ホームページ「線状降水帯」

(<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/kenchoame.html>)

線状降水帯の代表的な発生メカニズムの模式図



羽越水害はどの範囲浸水したの？

大石田町は最上川の氾濫による洪水の被害にたびたび見舞われています。記録が残るものでは昭和42年8月の羽越水害がもっとも被害が大きく、昭和44年8月8日水害、昭和56年6月23日水害でも甚大なる被害を被っています。また平成9年6月に台風8号による出水に見舞われており、小さいものも含めればほとんど毎年洪水やその危険にさらされているといっても過言ではありません。



昭和44年8月8日午後5時頃 大石田町四日町地区付近

出典：大石田町ホームページ(<https://www.town.oishida.yamagata.jp/smhp/life/iza/bousaimap/hazard.html>)

